

疾風に勁草を知る

ようやく鬱陶しい梅雨が明けました。梅雨入り前は、田畑のために「おしめり」を待ちわびていたのですから、天気に対する私の気持ちもいい加減なものです。

さて、表題についてですが、「勁草」とは「強い草」のことです。普段は分からなくても、嵐のような風が吹いたときに、強い草と弱い草の差が分かるという意味のことわざです。この意味とは多少ずれるかもしれませんが、同じようなことを感じた場面があったので紹介します。

その日は朝から少し強い雨が降っていました。傘がなければ相当濡れるほどの雨でしたが、その雨の中を、傘を持たない低学年の子の後ろから、自分の傘をさしてあげて、自分は濡れながら登校する高学年の女の子がいました（後で聞いたら、低学年の子は学校に傘を忘れたのだそうです）。さらに、その様子を見た高学年の別の女の子は、自分の傘に、濡れていた、たぶん同級生であろう女の子を入れてあげたのです。

「雨」という厳しい状況の中で、その子の持つ本当の優しさを垣間見ることができた思いで、嬉しくもあり、感心させられもしました。今回優しくしてもらった低学年の子は、近い将来、きっと同じように事をしてあげる子になるでしょう。普段の生活では気が付かなかったであろう、丸小の子の優しさに出会えた雨の日の出来事でした。



嬉しかったこと 二題

その1 「小さなガイドさん」

先日、齋理屋敷の管理人さんが来て、本校の3年生の子供たちのことを嬉しそうに話してくれました。それによれば、先日の5校交流会で齋理屋敷見学に行った際に、「AZ9 パスポートを持っていつでもどうぞ。」と話したところ、さっそく土日に数名の子供たちがお邪魔し、初めは見学していたものの、飽きてくると、手伝いや見学者の案内のことまでやってくれたのだそうです。私もさっそく3年生の教室に出向き、管理人さんの言葉を伝えるとともに、「人に喜ばれることを、どんどんやってください。」と話しました。

その2 「校長先生、遊んでくれますか？」

これも先日、6年生2名が校長室に来て、「私達と一緒にドッジボールをしてください」と誘いに来てくれました。嬉しい申し出だったので、即座に了承するとともに、経緯を尋ねると、その2名は放送委員で、5月頃に転入教職員のインタビューで私のところに来た際、「少人数の学校にいたときは、毎日のように子供と遊んでいたのが、大人数の学校に来て、なかなかそのきっかけがつかめないでいる」と話したのを覚えてくれていたのでした。とてもうれしい申し出で、心待ちにしていた約束の時間、大人げないと思いつつも、全力で渡り合ったことは言うまでもありません。

丸森小の閉校に向けて

ご承知の通り、町内にある8小学校は、今年度いっぱいですべて閉校し、令和4年度からは新しい「丸森小学校」と「館矢間小学校」としてスタートします。校舎の場所と校名こそ変わりませんが、校章も校歌も一新されます。現在、今年度末の閉校に向けて、記念誌の編集や記念行事の準備などを、実行委員会を中心にスタートさせたところです。事業の進捗状況については、今後、随時お知らせするようにしていきます。

この、歴史ある丸森小学校の閉校にあたり、たくさんの学校関係者、地域の皆さんに「閉校記念事業実行委員」を引き受けていただきました。その構成は以下の通りです（敬称略）。今後、皆様のお知恵を拝借しながら、歴史と伝統のある丸森小学校にふさわしい学校の閉じ方を検討していきます。保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

1	委員長	船山		丸森地区子供会育成会会長
2	副委員長	岡崎		丸森地区協議会会長
3	副委員長	石塚		丸森小学校PTA会長
4	副委員長	佐藤		丸森小学校校長
5	委員	佐藤		丸森地区協議会事務局長
6	委員	古川		丸森地区行政区長会副会長
7	委員	上村		丸森婦人会会長
8	委員	志藤		丸森小学校学校評議員
9	委員	八巻		主任児童委員・丸森小学校元PTA会長
10	委員	齋藤		丸森小学校元PTA会長
11	委員	石井		丸森小学校PTA副会長
12	委員	八巻		丸森小学校PTA副会長
13	委員	池田		丸森小学校PTA副会長
14	委員	齋藤		丸森小学校PTA顧問
15	委員	目黒		丸森小学校PTA顧問
16	委員	八島		丸森小学校PTA幹事（記念誌委員長）
17	委員	黒田		丸森小学校PTA幹事（記念事業委員長）
18	監事	齋藤		丸森地区行政区長会会長
19	監事	穴戸		丸森町教育委員
20	事務長	菅原		丸森小学校教頭
21	庶務	横内		丸森小学校主幹教諭
22	庶務	須藤		丸森小学校教務主任
23	会計	鹿野		丸森小学校主事

